

講演論文集の原稿作成要領

1. 原稿の構成（執筆要領は3ページ目を参照）

- 1) **原稿は2ページ**とします。CD-ROM収録版の原稿も同様です。
- 2) 原稿はPDFファイルで、CD-Rに収めたものと、原稿を印刷したものをあわせて事務局までご提出ください。
- 3) **PDFファイルのサイズは3.0Mバイト以内**で作成して下さい。
- 4) 原稿はA4判で作成して下さい。原稿はそのままの大きさを印刷されます。
- 5) 原稿には表題と著者の所属・氏名を入れて下さい。著者が複数の場合には、発表者名の前に印をつけて下さい。なお、表題の前にはプログラムに示された論文番号を記入して下さい。ポスター発表の場合は論文番号の前にアルファベット大文字の「P」を付して下さい。
- 6) 表題は第1行目の中央とし、1行あけて所属・氏名を行の右端に寄せて書いて下さい。さらに1行あけ、本文として下さい。

2. 原稿の書き方

- 1) 原稿は原則として和文とします。
- 2) 講演論文集には、提出していただいたPDFファイルを白黒印刷したものを掲載いたします。カラー原稿を提出する場合は、白黒印刷した場合にも図表等が明瞭な原稿を作成して下さい。なお、講演論文集には各原稿のPDFファイルを収録したCD-ROMを付属いたします。このCD-ROMにはカラー原稿のまま掲載いたしますのでカラーを有効にご活用ください。
- 3) 余白は上下左右すべて20mmとし、24文字×50行の2段組みで作成して下さい。2段組み以外の原稿は受け付けませんのでご注意下さい。
- 4) 文字サイズは論文番号及び表題（和文）は14ポイント、その他は9ポイントを使用して下さい。
- 5) 句読点、その他の記号もすべて1ますとします。ただし、行末にはみだす句読点・括弧などは改行せず行末に記して下さい。
- 6) 外国語単語または数字は、1ますに2文字の見当で印字して下さい。
- 7) 単位は完全SI表記とします。SI表記以外の原稿は受け付けませんのでご注意下さい。
- 8) 図表および写真にはすべて、図、表、写真のように番号を付けてから表題を入れて下さい。図・写真は下に、表は上に、表題を入れて下さい。
- 9) 図表・写真はなるべく本文の説明箇所と離れていない位置に挿入して下さい。幅が本文の横幅より小さい図表・写真の場合は右側に寄せて挿入し、左側の余白に本文を印字して、なるべく余白が残らないようにして下さい。

10) 図表は，論文の目的に合致した鮮明なものを用いて下さい。**画像については，解像度が300～350dpiのもの**を用いて下さい。

3. 文章

- 1) 現代仮名づかいを用い，漢字は原則として常用漢字を使用して下さい。ただし，固有名詞や広く用いられている慣用の語はこの限りではありません。本文中の人名には敬称を付けないで下さい。
- 2) 句読点は原則として，「.」「,」を用いて下さい。
- 3) 本文中に外国語を挟むことはできるだけ避けて下さい。ただし，適当な訳語がない術語や固有名詞はこの限りではありません。
- 4) 引用した文献は，引用順に番号を付け，本文末に一括して記載して下さい。本文中には，引用箇所を上付き文字で1), 2) ...のように記載して下さい。

4. その他

- 1) 原稿執筆期限：口頭発表及びポスターセッションともこの要領にて原稿を作成し，**8月24日(金)までに事務局必着**でお送り願います。
- 2) 内容は発表者の責任で万全を期して下さい。
- 3) 提出する印刷物には，各用紙の裏面に，鉛筆書きで，氏名，ページ，及び「口頭」・「ポスター」の区別を明記して下さい。
- 4) 印刷物のみでの提出を希望される方，PDF ファイルの作成ができない方，またその他不明な点がございましたら学会事務局までご連絡ください。

問い合わせおよび原稿提出先：日本応用地質学会事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-14

お茶の水桜井ビル 7F

日本応用地質学会

TEL：03-3259-8232 FAX：03-3259-8233

E-mail：office@jseg.or.jp

以上

55 . 割れ目帯検出のための物理探査手法

Geophysical Method for Detecting Fracture Zones

ポスターセッションの
場合は「P55」

応用太郎 (大学), 応用次郎 (研究所)

Taro Oyo , Jiro Oyo

1 . はじめに

物理探査は非破壊・簡便に地下構造を推定できることから、ボーリング等の掘削に先だって実施されることが多いが、あくまで間接的な地下構造推定方法であるため、その適用にあたっては複数の手法による結果を総合的に検討することが必要である¹⁾。

ここでは各種物理探査手法の特性を見直し、より高精度で付加価値の高い調査法とするため、火山岩地域で比較試験を実施した結果を報告する。

2 . 調査の手順

本調査の対象地は、東北地方の新第三紀堆積岩を基盤とする

必ずといってよいほど適用されているが、そのための測定や解析手法は基本的には従来どおりの手法で続けられており、多くが手作業と経験を要する作業となっている。岩盤の弾性波速度は砂や粘土などの未固結地盤より速く、堆積岩では時代が古いほど速度が大きく、火山岩であれば地表近傍で固結した火山岩より地下深部で固結したもののほうが弾性波速度は大きい。したがって、地表から地下深部にゆくにしたがって弾性波伝播速度が速くなるという地下構造が存在している。屈折法は、地下深部ほど弾性波速度が大きくなるという仮定に立脚して地下探査を実施する。

測定に際しては各ピックアップの出力信号を記録するとともに、震源から波動が出た瞬間が記録されなければならない。震源から波動が出た瞬間の信号をさしてショットマーク²⁾と呼ばれている。ショットマークからそれぞれのピックアップに波動が到達するまでの時間が初動走時となる。ショットマークの精度は重要

24 文字

50 行

部、受信部、増幅部、記録部から構成されている。システムの構成を図 - 1 に示す。土地地質調査に限らずこのようなシステムが一般に使われてきている。

現在でもトンネル、ダムサイト等の構造物調査には



図 1 測定システムの構成

る。爆薬を震源として用いる場合は爆薬を爆発させるために電気雷管に流す点火電流がショットマークとな

講演の要領

(1) 口頭発表時の注意点

1編あたりの持ち時間は15分、発表時間を12分程度、発表後の質疑応答時間を3分程度とします。また、セッションの最後に時間に余裕のある場合は、総合的な質疑応答時間を設ける場合があります。従って発表は、短時間でわかりやすいものとなるように、下記の要領により行ってください。また、発表終了後もセッションが終了するまで在席して下さい。

パワーポイントを用いてわかり易く発表してください。

聴講者の専門度を考慮した発表・説明内容としてください。

研究の要旨を明確にし、必要以上の情報はできるだけ省いてください。

発表に当たっては、基本的な流れとして次の項目のように整理してください。

- a. 研究の意義と位置づけ
- b. 研究に伴う周辺知識のまとめ
- c. 研究の方法
- d. 得られた結果・興味深い知見と、その中の重要な成果の表示
- e. 得られた成果の有用性
- f. 今後の発展方向 など

(2) 口頭発表用パワーポイント作成上の注意

発表会場はかなり大きな室内で行われますので、以下の点に注意してパワーポイント原稿を準備して下さい。

1枚のスライドの内容は1つのテーマの内容とし、約1分の説明内容としてください。表や式は必要最小限とし、単純なグラフ、略図等を用いてシンボリックな表記を心がけてください。

線画や活字はできるだけ太くあるいは大きく表示し、必要のない部分はできるだけ省いてください。

最後に「まとめ」を箇条書きにすると理解しやすいでしょう。

図表等の説明資料にページあるいは番号を付けておくと質疑応答がスムーズに進められます。

学会側はDOS/V コンピュータ（ノート PC）のみを準備します。

ノート PC の OS は WindowsXP またはそれより新しいバージョンとします。

会場で用意するソフトは、パワーポイント [Microsoft(R)PowerPoint(R)] 2007 です。

パワーポイントのファイルサイズは 20MB 程度までを目安としてください。

パワーポイントファイル (PPT) は USB メモリに保存し、当日持参してください。**また、パワーポイントファイルおよび USB メモリは必ずウイルスチェックを行い、ウイ**

ルスに感染していないことを確認してください。 発表用 PC へのデータの移行はセッション開始前の休憩時に行うこととしますが、混雑を避けるため、会場開場後（9 時 5 分頃）からセッション開始前までの時間や、昼休みの時間などを利用し、早めに移行していただいても結構です。なお PC へ移行したデータにつきましては、研究発表会終了後に事務局で責任を持って削除いたします。

講演者所有の PC 持参は、原則として認めません。

(3) ポスター原稿作成及び発表上の注意事項

ポスターセッションは、**横 90cm・縦 180cm** 程度のパネルもしくは壁のスペースを確保しますので、このスペース内にポスターの展示をお願いします。

ポスターセッションは開催 1 日目の 11 月 1 日（木）とし、ポスターの展示時間は原則として 11 月 1 日（木）10：00 から 11 月 2 日（金）15：00 までとします。

展示準備作業は 11 月 1 日（木）朝 10：00 から、撤収は 11 月 2 日（金）15：00 までとします。

11 月 1 日（木）13：10～14：25 までを発表時間（コアタイム）といたします。この時間帯に、展示ポスターの前で発表していただきます。

展示用のポスターは当日ご持参ください。事前の会場等への郵送はできません。また、撤収も各自でお願いいたします。

机、電源等の特別な準備には応じられませんので、あらかじめご了承ください。

以上